

1. 研究主題 「個を認める研究」

—学習意欲を高めるために—

学習を進めるための前提として大切なのは、児童の学習意欲である。

しかるに、意欲をもたせ、積極的に学習に取り組ませるための具体的な方法については、いつも実践の場で問題にされながらも、いまだに適切な方法は見い出されていない。

本研究では、児童の個性と学力に応じて、意図的、計画的に、まんべんなく「個を認める」はたらきかけがなされていけば、その、「認められた」ことが契機となって、どの児童も意欲的、積極的に学習に取り組むようになるのではないかと考え、一斉指導における「個を認める」はたらきかけのあり方を追求する。

2. 研究主題の解決策

(1) 前提条件

① 一人一人の児童の性格と学力とを把握し、個を生かすために、下記の資料を活用する。

- Y-G性格検査 • 学力検査
- 知能検査 • 前学期の成績
- 事前テスト

② 授業の中で、児童の主体的な活動の時間をできるだけ多くとり、教師はその間個別指導に努める。

(2) 解決策

① 授業ごとに、あらかじめ3～4人の児童を決めておき、その子たちを授業の中で「認める」場を意図的、計画的に設定し、短時日のうちには、少なくとも1回は、どの児童も、「認める」ようにする。このことを継続して行う。

3. 研究主題と本時とのかかわり

児童名	前学期 評 定	学力 SS	知能 SS	Y-G性 格類型	所 見
A	2	31	35	C	<ul style="list-style-type: none"> • 気が利かない。弱気であがり易い。実直。 • 反応がおそいが、まじめにやろうとする。
B	3	49	52	F	<ul style="list-style-type: none"> • 感情的、心配性、自我が強い。 • 学習の態度にむらが見られる。
C	4	54	63	C	<ul style="list-style-type: none"> • 反省的、恥ずかしがり。 • 意欲はあるが、なかなか表に出せない。
D	3	44	67	D'	<ul style="list-style-type: none"> • 気軽、活発、のんき、やや感情的。 • 意欲的だが、国語は苦手としている。

1. 単 元 名 きゃく本のおもしろさを

(木龍うるし)

2. 単元の目標

- (1) セリふとト書きから、二人の登場人物の気持ちや情景を読み取ると同時に、脚本のおもしろさを味わうことができるようにする。
- (2) セリふやト書きに注意して、気持ちや情景が表れるように朗読することができるようにする。
- (3) 正しい発音や言葉の抑揚、強弱に注意して、セリふの朗読ができるようにする。

3. 指導計画……………(総時数8時間)

- (1) 全文を読んで感想や問題を持ち、学習計画を立てる。……………(1時間)
- (2) あらすじをおさえ、筋の展開や表現のおもしろさを読み取る。……………(1時間)
- (3) 登場人物の性格と気持ちの変化を読み取る。……………(4時間)
○第一景を読み、権八と藤六、二人の性格をつかむ。……………(1)(本時)